



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

自衛官という選択肢～生き方講話～

2等陸曹 武井 健司



「自衛隊の印象は「こわい」「めっちゃきびしい」というのが頭にありました。ですが、色々な動画などを見せてもらい印象が「かっこいい」に変わりました」などのたくさんの感想やお手紙をいただいた。

「女性の方が少なくあまり活躍できないと思っていましたが、女性も活躍できることを知りました」

「自衛隊の印象は「こわい」「めっちゃきびしい」というのが頭にありました。ですが、色々な動画などを見せてもらい印象が「かっこいい」に変わりました」などのたくさんの感想やお手紙をいただいた。



自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所（所長 土屋2陸尉）は、令和6年3月14日、玉村町立玉村南中学校で「生き方講話」を実施した。

学校から「進路学習の一環として、生徒の進路に対する関心・意欲を高めるため、仕事の具体的な内容や、日々感じているやりがいや苦労等についてお話しただければ」と要望があり、自衛隊以外にも様々な職業の方を講師として招き、それぞれの生徒が希望する講話を聞く「生き方講話」が実施され、自衛隊の講話には、教諭を含む1年生43名の参加があった。

講話では、自衛隊が持つ社会的意義や、陸・海・空それぞれが果たす役割等の説明から始まり、多様な職種を紹介や自衛隊のイメージを一新する（それ誤解です！）映像の放映、能登半島地震における災害派遣でのエピソード紹介など多岐に及んだ。特に、クイズ形式で実施した「自衛隊豆知識」では、生徒の興味を強く引き、教室からは感嘆の声が聞かれた。

講話の最後には、生徒達へ「夢を持ってその夢の実現のために努力をしてください」と所長からの熱いメッセージをもって講話は終了した。

講話終了後、生徒から「なぜ自衛官という職業を選んだのですか？」「そのキラキラした（防衛記念章）ものは何ですか？」等の幅広い質問があり、自衛官という職業について、より身近に感じてもらえた実感した。

後日、先生から「大変ありがとうございました。生徒も進路を考える良い機会となったようです。」と感謝の言葉とともに、生徒からは「災害派遣や国の防衛、どの仕事もカッコイイと思いました」「女性の方が少なくあまり活躍できないと思っていましたが、女性も活躍できることを知りました」「自衛隊の印象は「こわい」「めっちゃきびしい」というのが頭にありました。ですが、色々な動画などを見せてもらい印象が「かっこいい」に変わりました」などのたくさんの感想やお手紙をいただいた。